

第60期 第4回 男女共同参画推進委員会会議議事録

日時: 2005年3月5日(土)10:30~14:00

場所: 日本物理学会事務局会議室

出席: 板倉明子, 井上順一郎, 笹尾真実子, 田島節子, 鳥養映子, 平野琢也, 肥山詠美子,
安居院あかね, 伊藤厚子, 八木江里, (職員)伊東恭子

欠席: 延與秀人, 潮田資勝, 武田 廣, 福山秀敏, 村尾美緒

議長: 鳥養映子, 書記: 肥山詠美子

議題:

I. 前回議事録の確認

II. 報告事項

- (1)事務局の新しい担当者として伊東恭子さんから挨拶があった。
- (2)AAPPS サミット会議について、田島節子さんより以下の報告があった。
教育問題、男女共同参画問題、APPSの将来問題について話し合いがされた。
教育問題について、世界の教育ランキングの調査結果が報告された。
その主な結果として、理数系の点数については、男女の差がない。一方、読解力、文章力については、女性が優位。また、大学の物理学科の女性占める割合が日本が一番少ない。
- (3)男女共同参画学協会連絡会(EPMEWSE)運営委員会の活動報告が伊藤厚子さんからあった。
第3回シンポジウムを設立記念日である10月7日に開催する。
主テーマは、企業で働く女性に関連する話題とし、詳細はWGで検討することにした。
主査は、日本化学会の井上祥平先生。
WGのメンバー学協会名: 応用物理学会、日本分子生物学会、日本女性科学者の会、電子情報通信学会、日本原子力学会、日本化学会

III. 審議事項

- (1)年会シンポジウムについて
 - a.準備状況、プログラムの内容確認について
井上順一郎さんから講演者の予稿に基づいてシンポジウムの内容紹介があった。
数箇所のプログラムの修正提案があり、承認された。司会: 前半 鳥養, 後半 井上。
変更修正: タイトル「改訂」を「策定」に。
登壇者変更: 福山秀敏さんの「まとめ」が、田島節子さんに変更になった。プログラム委員会承認済。
 - b.役割分担
広報の方法について種々の意見交換の後、ポスター、ビラを各委員から領域のメーリングリストに流してもらうこと、参加会場に貼ったりビラを置いたりしてもらうこととした。
ポスター作成(井上、肥山担当)
会場は200名用だが、今年のシンポジウムの参加者は約100名なので、委員とコメンテータ全員に広報活動への協力が必要。
 - c.黒田先生の講演録画について
日本化学会で研究発表が同日になってしまった。第3期科学技術基本計画について、基礎科学の研究者の立場と男女共同参画の視点を合わせて紹介できる方は他におられないという点で黒田先生と意見が一致したので、事前に委員会で講演いただき、その様子をビデオ撮影し、会場で流すこととなった。
ビデオ撮影候補日時については、
第1候補: 3月19日(土)10:00~11:30
第2候補: 3月19日(土)18:30~20:00
とした。黒田氏と相談の上、日時を決定
委員長から、欠席の方には事前に科学技術基本計画についての質問を寄せていただきたいとの要請があった。その資料として、文科省基本計画特別委員会の議事録、資料が掲載されているウェブをメールで知らせることとなった。担当 鳥養(平野)。
 - d.男女共同参画学協会連絡会(EPMEWSE)共催について
このシンポジウムに参加する方々については、参加料無料。
この方々には、バッチを配布する(バッチの作成→肥山)
 - e. その他
シンポジウム終了後の本委員会開催について、委員長から提案があり、承認された。目的は、委員とコメンテータの顔合わせの機会を持ち、同時に写真撮影を行うこと。
委員会には弁当を用意(費用は自費)する。
- (2)リオ会議について
委員長から、ウェブ会議の結果と、応用物理学会と協力して取組む方針について説明があった。今のところ応物の小館先生が出席の予定なので同一行動をとるつもりだが、1人だけの参加や行動は避けること、危険情報や応物との打ち合わせにより流動性がある。鳥養が出席。安居院さんについては、研究助成申請中であり、この助成金の可否による。
- (3)Judy Franz 氏の来日について
Women in Physics のパリ会議での事務局長を務めた方。
4月末に来日される機会に、世界物理年の企画として交流を持ちたいと、坂東さんより提案。

4月30日の午前中に男女共同参画委員会を開催し、その後、Judy 氏を囲んでの昼食会&スピーチを企画することを提案。参加者は、30名程度。
したがって、このJudy 氏を囲む会は、本委員会の公式行事とする。
会費は、おおよそ5,000円程度。この会の広報活動については、本委員会の口コミで行う。
担当者:坂東,鳥養

(後記)その後、この件は本会の公式行事ではなく、私的な交流会とすることになった。

- (4)「日本学術会議女性会員の選出について」の要望書について審議した。種々の意見交換の後、本委員会としては承認することとした。理事会(3月4日)に提案され、承認されれば、要望書の賛同学会に連名となる。
- (5)IM 学会託児室の参加について、本委員会から少なくとも1名参加することにした。
(肥山さん,板倉さん(未定))
- (6)ネット会議について

委員長から、メール上での意見交換のうち、継続的な話題、発展性のある話題については、議論の筋道がよくわかるように、本委員会の仮ウェブ(閲覧は委員会のみ)に転載することとしたい、との提案があり、承認された。ウェブ転載担当安居院さん。転載後に通知のメールを出すこととし、投稿者のその都度の合意は得ないでもよいことが了承された。ウェブ転載が望ましくない場合には、メール投稿時にその旨明記するか、転載通知受領後に削除希望を連絡していただく。

IV. 意見交換

- (1) 安居院さんから、資料「少子高齢化社会へ向けての法施策」(Jurist 2005.1),「学校教育と連携した科学館等での理科学習が児童生徒に及ぼす影響について」(科学技術政策研究所,2004.11)の紹介があった。